

在日米海軍司令部 横須賀基地消防隊見学会 概要報告

日本防火技術者協会

日本防火技術者協会は、米国の SFPE（全米防火技術者協会：Society of Fire Protection Engineers）の日本支部（Japan Chapter）としての役割を担っている。実務者として Fire Engineer がいる在日米軍横須賀基地を訪れ、Fire Engineer との交流を希望し、在日米海軍司令部(CNFJ)地域統合消防隊課長の長谷川様のご尽力のより見学会が年末の12月18日に実現した。その概要を報告する。

1. **見学場所**：在日米海軍司令部 横須賀基地、在日米海軍司令部(CNFJ)地域統合消防隊
2. **日 時**：12月18日(火) 10:00～13:30
3. **基地内案内者**：米海軍日本管区司令部消防隊 予防課 課長 長谷川祐子様
4. **講演及び見学**

4.1 挨拶及び記念撮影

- ①在日米海軍司令部(CNFJ)地域統合消防隊 サルシード予防課長挨拶
- ②防火技術者 イヴァン・ピレット氏の挨拶
- ③記念撮影



消防署前での記念撮影

4. イヴァン・ピレット氏の講義・質疑応答（約35分）

イヴァン氏は、米国海軍の NAVFAC という組織に所属している。極東の第7艦隊の全域をカバーしている。横須賀の海軍だけではなく、佐世保、厚木の海軍及び海兵隊で見ている。第7艦隊のインド洋にあるディエゴガルシア、シンガポール、沖縄ホワイトビーチ、韓国を見ている。

建物の改修工事が大きな業務である。

アメリカの基本的な設計基準である UL、NFPA、UFC(Unified Facilities Criteria)のほか、軍基準がある。安全にと言うことを第一に考えている。心がけていることは、要求以上のものを入れることには気をつけて設計している。設計のみならずチェックをしている。

米軍海軍の国防省の建物は、一番大事なことは過剰な設計をしないこと、シンプルにすること、複雑なものを作らないことを心がけている。

性能設計というのは、フレキシビリティ、余裕があるようにしておかないと、一の用途で作ってしまうとこの用途しか使えなくなるので不便なもの、優れていないものになる。応用が利くようにしている。

「この部屋にはスプリンクラーがついていませんが？ いかがですか？」

この建物は日本政府の資金で日本の基準によって作られている。予算が出来次第、要求度の高いものからスプリンクラーを設置してゆく。

「性能設計の方法を基地で採用する時に、アメリカの性能設計の方法で行うことはあるのでしょうか？」

もし、日本政府のものがアメリカ政府の要求に合っていて、そのファシリティの要求に合っているのであれば使うことが可能である。

在日米軍の防火技術者は、全体で4人いる。

消防車の保有台数は5台です。消防隊は二交代制をとっている。

基地内の火災による死者は0です。関東エリアで火災の発生は約10件です。スプリンクラーがついているので、ほとんどの台所の火災は消火する。被害としては水損がある。

4.3 消防署の見学（3グループに分かれ3種類の各説明を受ける）

4.3.1 訓練用のカーゴ内での基地内の子供の防火教育に関する説明

火災の出動回数を減らすことが一番重要である。大人は、体験させても忘れやすい。ことから子供の教育に重点を置いている。実体験させることが記憶に残る。教育プログラムが充実している。



FIRE SAFETY HOUSE

4.3.2 消火器の訓練

LP ガスを使い、実際に火をつけて消火訓練を行うので子供達も大喜びである。後処理も簡単である。

子供たちに教える時、頭文字4つを使った PASS という単語を使って教育している。

- ①Pull the pin ピンを抜く
- ②Aim 火の根元を狙う
- ③Squeeze レバーを引き放射する
- ④Sweep 左右にスweepする

2名ずつ順番に体験する。(自動点火 火事だと叫ぶ、PASSS 操作する)

実際に火に対して行うとモチベーションが違います。消火しようとする気持ちになる。

熱いと理解するし、どちら側から放射しなければならないか判る。風下から行ってはいけないという意味が解る。可燃ガスは煤も出ないし取扱いが簡単である。



消火器による訓練の様子

4.3.3 消防車の見学

アメリカのトラック2台、日本のトラック2台。それ以外にはしご車もある。



消防車

4.4 基地内見学

バス内から基地内の防火家計施設を見学していただいた。

船舶の消防士の訓練ハウス。実際に油を燃焼させ訓練している。すごく煙が出るので浄化システムが設備されている。



SWOS ENG LS FIRE FIGHTING AND
DAMAGE CONTROL TRAINING FACILITY

4.5 その他

その他の情報として、10月の東京ビッグサイトで行われる東京消防庁主催の防災展で、米海軍日本管区司令部消防隊も出展する。各種機材を展示する。長谷川様も講演を行うとのことでした。興味のある方は見学されることをお勧めする。

以上